裁判員等経験者との意見交換会を開催しました

今回は、否認事件を担当された裁判員等経験者5名をお招きしました。
否認事件は、争点が複雑であったり、審理期間が長期になりやすい傾向があります。
そこで、**「否認事件の審理と評議のわかりやすさ」**をテーマに、みなさまにご意見やご感想をお聞きしました。

開催日：令和６年１０月２４日（木）
場　所：東京地方裁判所立川支部
参加者：裁判官２名　検察官３名
弁護士２名　裁判員等経験者５名

❖ 裁判員裁判を経験しての全般的な意見・感想について ❖

・**判決は簡単に決まっているのではなく、そこに至るプロセスがいかに丁寧になされているかを学びました。**

・裁判官、検察官、弁護人の**真摯な仕事によってこの社会の秩序が保たれている**ことや、**法律がどのように使われているか**がわかり、**安心**しました。

・犯行時少年の事件を担当し、**子どもとの向き合い方が変わりました。**自分の子どもへの声かけの仕方を考えるようになりましたし、近所の子どもに対しても深くかかわり、相談してもらえる存在になりたいと思いました。

・裁判が終わった後にネットで事件を調べると、事実と異なることが書かれているものがあり、**正しい情報を見極める大切さ**を学びました。

・**自分の意見をどう伝えれば相手に理解してもらえるか、勉強になりました。**

・**ニュースを見るときにその背景まで考える**ようになりました。

・**裁判官は冷たいイメージ**がありましたが、**実際は真逆**で、とても**あたたかくサポートしてくれました。**

・会社に**裁判員特別休暇の制度**があったので、裁判員裁判に**無理なく参加できました。**

・裁判員裁判に参加するために子どもを預けたくても、自治体によっては望みどおりの支援が受けられない場合があるので、**子育て中の人でも無理なく裁判員に参加できる制度があるといい**と思います。

❖ 審理について ❖

・検察官も弁護人も、**わかりやすい言葉**で話してくれました。法医学の先生の話の中で**難しい専門用語**がありましたが、**裁判官がその都度意味を教えてくれたので理解できました。**

・**資料**については、色使いに工夫があったり、図表や写真が使われていて、**わかりやすかった**です。

・**日程や時間**が予定どおりに進んで**スムーズ**でした。

・担当した事件では**負傷状況などの証拠**がありましたが、精神的に負担がないよう**配慮**されていて、ありがたかったです。

・**裁判員からの質問内容を考える時間があって安心**しました。疑問に思っていたことを直接聞くことができ、心置きなく評議に臨めました。

❖ 評議について ❖

・**あたたかい雰囲気**で、自分の意見を話しているうちに迷走してしまっても、最後まで聞いてくれました。

・**わからないことを裁判官に聞きやすい雰囲気**で、**自分の意見を言いやすかった**です。

・**全員の知識や経験を活かした評議**でした。

・**裁判官**は威圧的なイメージがありましたが、**とてもフラットに接してくれて、どんな意見も否定から入らずに拾ってくれました。**全員が真摯に事件に向き合い、**活発な意見交換**ができました。

・**裁判長や裁判官が意見をうまく引き出してくれて、**とても**スムーズ**な評議でした。

❖ これから裁判員になる人たちへのメッセージ ❖

・自分より上の年代の方の話を聞いて視野が広がりました。**若い人たちにとって将来を考えるきっかけになる**と思います。精神が病まないか心配でしたが、サポート窓口などがあり**メンタルケアも整備されている**ので、安心して参加できると思います。

・法律の運用や裁判手続を体験したからこそ、**この社会で生きていることに安心し、信頼できました。**ぜひ参加していただきたいです。

・わからないことは裁判官がサポートしてくれるので、良心があれば十分務まると思います。裁判員裁判を経験して**視点が変わりました**し、**日常の平穏な生活のありがたみ**を感じることができました。**これからの人生に意味がある経験**だと思います。

・重い事件を担当しましたが、**自分自身の学びもあり、やってよかった**です。なかなか経験できないことなので、ぜひやってみてはいかがでしょうか。